

プログラム科目 心臓血管外科

診療部長

田村暢成

指導医

- 田村暢成 教授
- 岡田達治 診療講師
- 松田靖弘 診療講師
- 小曳純平 助教 B

診療実績

- 2000 年開設以来累積開心術数: 5,000 例

弁膜症

弁置換(大動脈弁、僧帽弁、Bentall手術等)、弁形成(僧帽弁形成、大動脈弁温存基部再建等)

虚血性心疾患

冠動脈バイパス術、左室形成術等

大血管

大動脈解離・大動脈瘤に対する人工血管置換術等
ステントグラフト

末梢血管

閉塞性動脈硬化症、血栓症に対するバイパス手術、血栓 除去等

認定施設

- 日本外科学会専門医制度修練施設
- 心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- 胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施認定施設

入局後の勤務予定

手術

- 3～4 件/週(定例手術+緊急手術)
- CABG での graft 採取(ITA、RA、GEA、SVG)
- 開胸、Cannulation
- 執刀、助手

術前精査および術後管理(ICU・病棟)

外来業務

- 心臓血管外科外来:週 3 コマ(月、木、土)
- 術後内科的フォローおよび他院手術紹介患者の診察等

当直回数

2 回/週

モバイル CCU への搭乗

緊急患者搬送、他院紹介患者搬送等

特徴

1. 大学病院心臓外科として手術症例数を有している。
2. 手術症例は、バランスの取れた幅広い心臓血管外科研修が可能である。
3. 後天性心大血管疾患を中心に心拍動下バイパス術、左室形成術、弓部大動脈手術など先進的で高度な技術を要する手術を積極的に施行している。
4. 指導医と man-to-man 方式で一体感を持って診療、検査、手術にチームの一員として積極的に参加しうる。

大学院生の臨床業務

なし

入局後の進路選択

- 外科専門医、心臓血管外科専門医の取得
- 近畿大学附属病院はもとより、京都大学医学部関連病院への出向・就職
- 海外留学は可能
- 京都大学医学部および近畿大学心臓血管外科教室との連関で論文博士の取得可能

当科における業績

研究テーマ

各種臨床研究

外勤について

希望者は週1回

診療部長抱負

当科での手術の対象は、虚血性心疾患、弁膜症、大血管疾患を中心とし、心臓血管外科領域の全域にわたり対象としている。

多くの臨床経験に基づき、学会発表、論文作成に積極的に取り組むことで、より幅広い知識に基づいた臨床医としての成長も期待できる。

心臓血管外科の後期研修においては、京都大学心臓血管外科関連施設とも密接な連携を取りながら、将来性のある operator の育成に取り組みたいと考えている。

専門研修連携施設